

親子の遊び場 「プレーパーク」



「子どもたちを自由に遊ばせたい」そんな思いから、千郷小の校庭に出現した手作りウォータースライダー。他にも、ベーゴマなどの昔遊びや、工作ができる場が広がっている。

今日、安全や防犯の面で、子どもたちの遊びには制約が多い。そこで設定したのが、禁止事項を極力なくした遊び場「プレーパーク」。びしょぬれになったり、工具を使ったり、ときには火を用いたりして、ふだんと違った遊びが体験できる。



パイプを組んだり、水を運んだりして作ったウォータースライダー。



地域の人も一緒にトントン。木切れを使った工作を手伝う。

他にはこんな遊びも！

- ・簡易プール、水鉄砲などの水遊び
- ・ハンモック体験
- ・ロープ遊び（スラックライン）
- ・けん玉、コマなど昔の遊び
- ・砂場にシャベルだけを用意
- ・段ボールや木を使つての工作
- ・枝と毛糸を使つてのペンダント作り

昨年度、千郷小のPTAと市の地域振興課が協力して発足したプレーパーク事業。PTA地区委員を対象に講習を行い、7月と1月の数日間、校庭を遊び場に変身させた。

「このコマ、どうやって回すの？」
「やっと火がついた！」

遊び方がわからず、初めは恐る恐るだった子どもたちも、数分もすると夢中になっている。保護者や地域の人に教えてもらいながら、遊びを創る姿が印象的だ。

始まったばかりの活動だけに、準備や片づけに時間がかかり、苦労することも。また、どこまで大人が注意すればいいかの判断に迷うなど、課題も見つかった。

子どもたちが、四季の変化を体で感じながら遊ぶことを願う千郷小PTA。子どもの目線に立って遊び場を支えられるよう、努力を続けている。

2015.06
探検

DATA 所在地●新城市杉山、前野4の1 児童数●645人 周辺環境●北に雁望山を望み、南に豊川が流れる、新城市の南西部に位置する。校区の中央を国道151号線が東西に通る。豊橋市、豊川市と山間部をつなぐ要所となっている。また、近くにはゴムや鉛筆の工場がある工業団地が建ち並ぶ。